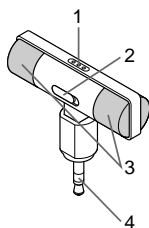
付属マイクの上手な使い方

使用するシーンや録音する音源に合わせて、モード(ステレオ/ズーム)を切り換えることにより、臨場感を高めたり、指向性を高めて録音できます。

各部のなまえと使い方

1. ズームマイク

2. ステレオ/ズーム切換スイッチ

使用するシーンに合わせて切り換えてください。

ステレオモード(ステレオマイク)
複数人の会話を録音する時、ステレオ感(左右の聞き分け感)が増します。

ズームモード(ズームマイク)
前方正面の音を拾いやすくなります。

- 詳細→裏ページ

3. ステレオマイク

4. マイクプラグ

ボイスレコーダーの外部マイク端子に接続します。

ご注意

- **付属マイクを使用して通常の会話を録音する場合**は、**マイク感度**を**高感度**に設定してください。

  ICR-S270RM: マイク感度 → **HI**(高感度)
  ICR-S340RM: マイク感度 → **高**(高感度)
- ステレオ/ズームの切り換えは、必ず録音前におこなってください。録音中に切り換えると、切り換え時のノイズが録音されます。
- 付属マイクを他の機器に接続した場合の動作は保証しておりません。

1AD6P1P2177-- (JP0)

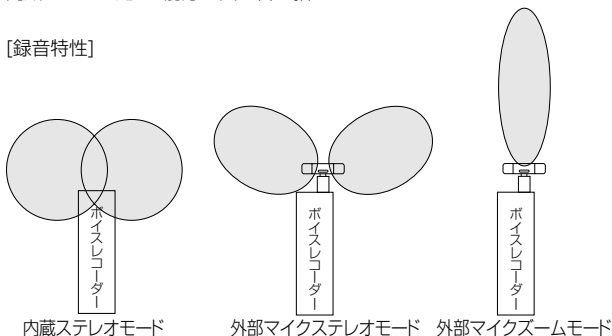
モード(ステレオ/ズーム)切り換えについて

内蔵マイク使用時に比べ、録音特性が下記のようになります。録音シーンに応じて、使い分けてください。

ステレオモード(指向性ステレオ)
内蔵ステレオマイク(無指向性)に比べ、ステレオ感(左右の聞き分け感)が増しますが、反面、前方正面の音は拾い難くなります。また、指向性マイクを使用しているため、音源から離れると内蔵マイク使用時より録音音量が小さくなります。

ズームモード(指向性モノラル)
内蔵マイクに比べ、前方正面の音を拾いやすくなります。

[録音特性]

内蔵ステレオモード　外部マイクステレオモード　外部マイクズームモード

主な仕様

形式	エレクトレットコンデンサマイク
指向特性	単一指向性 × 3
周波数特性	70〜16,000Hz
感度	ステレオ時　−48dB ±4dB 1kHz(0dB=1V/Pa)
	ズーム時 (L·R+Center)　−38dB ±4dB
電源	プラグインパワー方式
動作温度	+5℃〜+35℃
最大外形寸法	幅 約48 × 高さ 約50.5 × 奥行き 約13mm(突起部含まず)
質量	約6.5g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。